

The University of Shimane
ENMUSUBI PLATFORM

地域と大学の共育・共創・共生に向けた

縁結びプラットフォーム

Matsue / Izumo / Hamada



公立大学法人
島根県立大学

概要版
DIGEST

文部科学省
地(知)の拠点
平成27年度 地(知)の拠点整備事業
成果報告書
地域連携活動報告書

はじめに



公立大学法人島根県立大学
理事長・学長 本田 雄一

島根県立大学の「地（知）の拠点整備事業」：「地域と大学の共育・共創・共生に向けた縁結びプラットフォーム」（COC事業）は平成27年度で3年目となり、5年間の事業実施期間の半ばを過ぎることになりました。COC事業の2本柱は、①地域のニーズと大学の知的資源であるシーズをマッチングさせ、地域課題の解決に向けた共同研究を進めること、②地域の再生、活性化に貢献する地域人材を養成する教育改革を実行すること、です。

教育面では、既に、地域志向の教育である「フレッシュマン・フィールド・セミナー」等、地域をフィールドとする体験型学習を実施しています。本年度は、地域人材を養成する「しまね地域マイスター認定制度」の構築をほぼ終え、その基礎となる「しまね地域共生学入門」を、COC²-Netを活用した遠隔授業として、試行的に3キャンパス同時に開講することが出来ました。

研究面では、「9月連携会議」における地域ニーズと大学シーズのマッチングをより実質的なものとするため、テーマ別に分科会を設け、緻密な意見交換を経て共同研究のテーマを設定することにしました。また、「しまね地域共創基盤研究費」を活用した共同研究の成果は、「第3回全域フォーラム」の場で発表され、同時に、浜田市及び益田市と島根県立大学との共同研究の成果も発表されました。

島根県における地域の再生と活性化を推進する担い手となる人材の育成に向けて、「松江キャンパス」では、現場の専門職と大学教員が過疎地域の課題解決に向けて研鑽し合う専門職者向け履修証明プログラム「地域共生専門コース」の準備を進め、来年度から本格実施する体制を整えました。「出雲キャンパス」では、「しまね看護交流センター」が中心となり、「地域とともに歩む看護・福祉の専門職」の育成に取り組んでいます。「浜田キャンパス」では総合政策学の学びと実践のもと、地域事情に精通し、地域を繋ぎコーディネートしながら課題解決に取り組む「実践力のある専門地域人材」の育成に努めています。

今後とも、「縁結びプラットフォーム」を基盤として地域課題を解決し、地域の再生・活性化に向けて、大学が関係する自治体や団体等の間を繋ぎ合わせる接着剤の役割を果たすことができればと願っています。

目次

平成27年度 地(知)の拠点整備事業
成果報告書(地域連携活動報告書)概要版

1

はじめに

公立大学法人島根県立大学 理事長・学長 本田雄一

3

事業概要

3キャンパス共通の事業概要

4

事業の主な具体的取組

・島根県立大学
・島根県立大学短期大学部

5

全域プラットフォームの実施状況

・第3回全域フォーラム
・3キャンパス年間スケジュール

各キャンパスの活動

7

浜田キャンパス

11

出雲キャンパス

15

松江キャンパス

19

しまね地域共育・共創研究助成の研究成果

・しまね地域共創基盤研究費
・地域活動経費

20

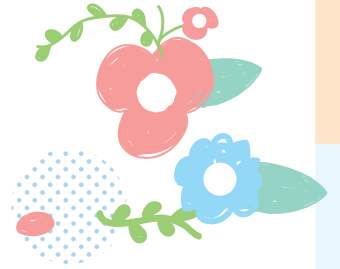
本事業の連携自治体・団体・機関





事業概要

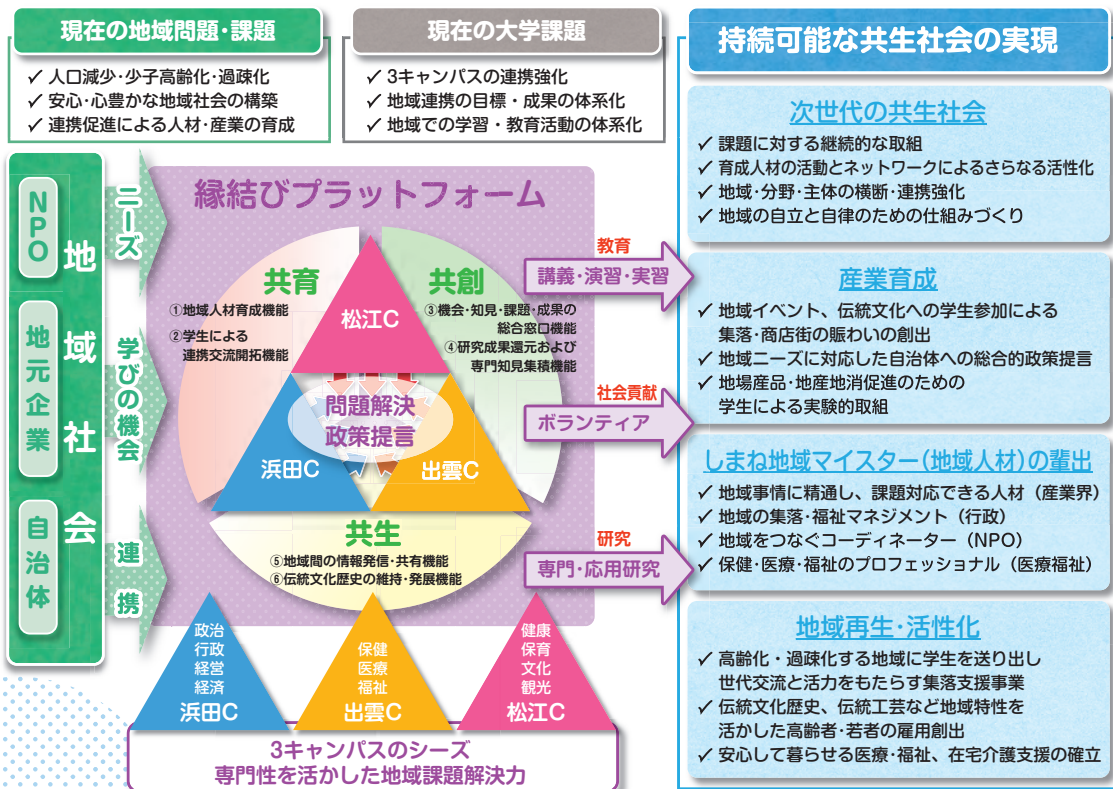
3キャンパス共通の事業概要



公立大学法人島根県立大学は、総合政策学部(浜田市)、看護学部(出雲市)、短期大学部(松江市)の3キャンパスを有し、各キャンパスの専門分野を活かした地域貢献に取り組んでいます。本事業では、島根県の人口減少、少子高齢化、過疎化という地域共通問題へ対応するため、地域ニーズと大学シーズのマッチングを図る「縁結びプラットフォーム」という「場」を構築します。



地域と大学の共育・共創・共生に向けた縁結びプラットフォーム



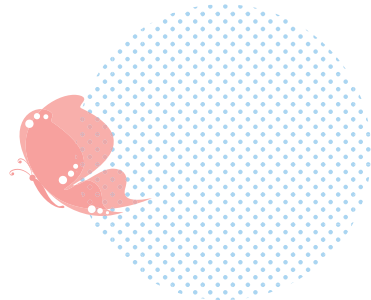
『共育・共創・共生』とは

- 『共育』…地域とともに人材を育む
- 『共創』…知見を集積し、住みよい地域の姿を創造する
- 『共生』…地域の良さを活かし、持続的・自律的に発展する

教育・研究・社会貢献活動での3キャンパスの連携事業を発展強化させ、全学の専門性と総合力を存分に活かした効果的な課題対応等を展開していきます。

地域課題に接近しつつ教育では、過疎先進地島根県で高い専門性と実践力を有する人材を育成するために「しまね地域マイスター」認定制度(島根県立大学)、「履修証明プログラム」(島根県立大学短期大学部)を新設します。各学部で実施されてきた教育・研究・社会貢献活動を段階的に整理し、その目標・成果を全学で体系化するとともに、共通問題を多角的に研究し、市民や学生の地域活動を支援して、地域に開かれた大学として、地域社会へ貢献しています。

事業の主な具体的取組



島根県立大学

1 共育 (教育)

人材育成の目標:島根県における地域問題に対して様々な取組を通じて、

- ①地域事情に精通し、
- ②地域主体を繋げるコーディネート力のある人材を育成し、
- ③熱意をもち課題解決に取り組める実践力を持った人材を育成する。

○「しまね地域マイスター」認定制度の創設

本制度は、島根地域のあらゆる分野へ精通した学生を認定する、本学独自の制度です。卒業時には、自ら課題に対して向き合い、考え、課題解決に向けた行動力のある人材として、社会に飛び出すことができることを目標としています。

2 共創 (研究等)

本事業では、研究等について以下に掲げる内容を目標として取り組みます。

- ①「縁結びプラットフォーム」を通じて、学内の教員同士、地域と大学との連携を強化する。
- ②広域的、分野横断的な地域研究の実施を促進する。
- ③域内での研究成果の共有化を図る。

○地域研究費の拡充

- ・「しまね地域共育・共創研究助成金」

3 共生 (社会貢献)

本事業では、島根県内に分散立地する各キャンパスを拠点とし、社会貢献の目標を以下のとおり掲げています。

- ①生涯学習機能の拡充に取り組む。
- ②ボランティアの広域的対応に取り組む。

○生涯学習機能の拡充

- ・COC²-Netを活用した遠隔講義の実施を通じた市民の受講機会の拡大

カリキュラムマップ

CURRICULUM MAP

学年	1年	2年	3年	4年
演習科目				地域共生卒業研究
		地域共生演習		
専門科目	選択専門科目			
		地域課題総合理解		
基礎科目	しまね地域共生学入門		ステップアップ!!	

島根県立大学短期大学部

1 共育 (教育)

学生に対する「地域志向」教育改善は、

- ①「しまね地域共生学入門」と「地域志向」科目による地域課題への基礎教育構築。
- ②「地域共生専門コース」履修証明プログラムの選択履修による問題意識の深化。
- ③卒業研究における学域共同研究への一部参加による課題解決への展望。

○現場専門職者向け「地域共生専門コース」新設

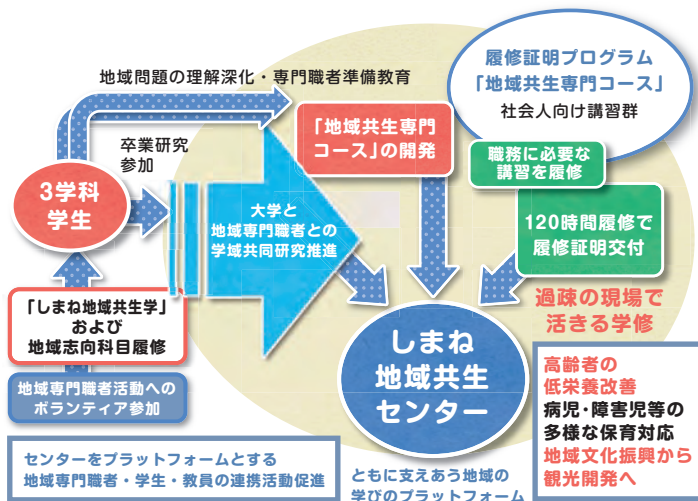
現場専門職の社会人向けの、極めて実践的かつ具体的な個別的課題の解決に結びつく知見と技術の集積としてのプログラムです。少子高齢化集落の職務に必要な講習の履修、ならびに120時間コース履修による履修証明の交付(履修証明プログラム)をおこないます。

2 共創 (研究等)

- 「しまね地域共生センター」における共同研究の推進
- 「しまね地域共生センター紀要」の発行

3 共生 (社会貢献)

- 社会人向け「地域共生専門コース」での人材育成
- 生涯学習機能の拡充
- ボランティアの広域的対応





文部科学省 平成27年度
「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」成果報告会
地域と大学の共育・共創・共生に向けた縁結びプラットフォーム

第3回 全域フォーラム



日時:平成28年2月16日(火)

会場:島根県立大学 浜田キャンパス 講堂 講義・研究棟1階(大講義室1、中講義室3・4・5)

島根県立大学が平成25年度より取り組む「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」における、平成27年度の成果を報告する場として開催。基調講演には滋賀県立大学の濱崎一志教授を講師にお迎えしました。また今回は「しまね地域共育・共創研究報告会」に加えて、「浜田市共同研究報告会」「益田市共同研究報告会」「学生研究発表会」もあわせて開催し、会場を分野ごとに分けてきました。

基調講演



「地域と大学: 共生のために今すべきこと」

滋賀県立大学
理事・副学長 地域共生センター長
濱崎 一志 教授

浜田市・益田市と島根県立大学の共同研究報告会

SESSION①「商品開発」

「大学生とコラボした水産加工製品の開発」
～大学文系学部が中小企業の製品開発に果たす役割とは～
島根県立大学 久保田 典男 准教授

「地元の食を再考する「まち弁」企画」

～イカを活用した付加価値創造～
島根県立大学 田中 恭子 准教授

SESSION②「教育」

「Webシーズマップを利用したふるさと教育連携」
島根県立大学短期大学部 山下 由紀恵 教授
島根県中山間地域研究センター
榎谷 邦茂 嘱託研究員

SESSION③「観光」

「石見トラベルガイドの継続」
島根県立大学 ケイン・エレナ 准教授

「益田市の観光ニーズと萩・石見空港の二次交通」 ～Webアンケートによる分析～

島根県立大学 西藤 真一 准教授

「広島市民に対する島根県浜田市の観光イメージ調査」

島根県立大学 西藤 真一 准教授

SESSION④「人口問題」

「ワークライフバランスと人口政策」
～一国の施策と地域の施策～
島根県立大学 藤原 真砂 教授

SESSION⑤「交流人口拡大」

「浜田の特産品を用いた地域活性化策」
島根県立大学 藤原 真砂 教授

「益田市における体験教育旅行受け入れによる 交流人口拡大」

島根県立大学 林 秀司 教授

ポスター展示



当日は登壇報告の他に、ポスター展示による報告も11件おこなわれました。

しまね地域共育・共創研究の成果報告会、学生研究発表会

SESSION⑥「観光振興」



「松江市の観光振興に向けた取組み」 ～地域志向科目における実践～

島根県立大学短期大学部 工藤 泰子 准教授

島根県立大学短期大学部 2年 佐々木 麻衣 写真

SESSION⑦「雇用」



「石見地方における企業の 人材確保に関する基礎的研究」

島根県立大学 林 秀司 教授

SESSION⑧「人材育成」



「リーダーシップの養成」

島根県立大学 マニング・クレイグ 講師(左)

SESSION⑨「地域資源」

「地域住民の健康増進活動を促進する温泉施設の活用と 活性化に向けた取組み」～温泉地しまねの特性を活かして～



出雲キャンパス

島根県立大学 林 健司 助教(左)

出雲キャンパス

島根県立大学 川瀬 淑子 助教(右)

「邑南町における稲作の5次産業化に関する研究」



島根県立大学 豊田 知世 講師(左)

島根県立大学短期大学部 酒元 誠治 教授(右)

「伝統的工芸品 石見焼の販売促進」※学生研究発表会として開催

島根県立大学 生田 泰亮 准教授 ゼミ生

年間スケジュール (平成28年度)

	教育	ボランティア	COC事業暦	学年暦
4月	授業開始 (浜田・出雲・松江)	ボランティア説明会 (松江) 地連カフェ「ボランティア・プラットフォーム①」実施 (浜田)	地連カフェとは、ボランティアの紹介や報告、ボランティア依頼者と参加希望者が顔を合わせる「ボランティア・プラットフォーム」など様々な企画をしています。	●学年始 (浜田・出雲・松江) ●入学式 (浜田・出雲・松江) ●オリエンテーション (浜田・出雲・松江) ●春学 (前) 期開講 (浜田・出雲・松江) ●健康診断 (浜田・出雲・松江) ●学生・教職員交流会 (出雲) ●学生生活支援講演 (出雲)
5月	1年ゼミでの連携依頼はここまで	地連カフェ「ボランティア・プラットフォーム②」動きやすい実施 (浜田)	学生が比較的動きやすい	●学生生活支援講演 (出雲) ●進路セミナー (出雲) ●球技大会 (松江)
6月	松江市立湖南中学校授業連携 (松江)	ボランティアをしたい学生とボランティアをやってほしい依頼団体とのマッチングを行います。	縁結びプラットフォーム運営委員会総会	●開学記念日 (出雲・松江) ●学生生活支援講演 (出雲) ●進路セミナー (出雲) ●大学祭 (つわぶき祭) (出雲) ●ほいくまつり (松江)
7月	フレッシュマン・フィールド・セミナーシラバス締切 (浜田)	連携依頼ポイント		●球技大会 (浜田) ●春学 (前) 期試験 (浜田・出雲・松江) ●春学 (前) 期終了 (浜田) ●オープンキャンパス (浜田・松江)
8月	学生研究発表会 (浜田) 乃木小学校・幼保園のぎとの連携会議 (松江)	学生の研究について、より広く市民の皆さんに知っていただくことと同時に、学内で学生が研究の成果を報告する機会を設けます。		●球技大会 (浜田) ●春学 (前) 期終了 (出雲・松江) ●夏季休業開始 (浜田・出雲・松江) ●オープンキャンパス (出雲) ●異文化理解研修 (浜田・出雲) ●海外語学研修 (松江)
9月	ゼミ合宿等の検討 (浜田・松江) 夏休みを利用したゼミ活動での地域貢献可。 連携校教育研究会 (松江) 翌年連携依頼ポイント (松江)	夏季休業	連携依頼ポイント	●オープンキャンパス (浜田・出雲) ●夏季休業終 (浜田・出雲・松江)
10月	松江市立湖南中学校授業連携 (松江)		縁結びプラットフォーム運営委員会 9月連携会議開催	●秋学 (後) 期開始 (浜田・出雲・松江) ●進路セミナー (出雲) ●学生生活支援講演 (出雲) ●大学祭 (海遊祭) (浜田) ●大学祭 (飛鳥祭) (松江) ●保護者進路懇談会 (浜田)
11月	松江市立女子高等学校交流会 (松江) 松江市立乃木小学校本学訪問 (松江)	地連カフェ (浜田)	「しまね地域共生センター紀要」発行 9月19日予定 (松江)	
12月	翌年2年ゼミでの連携依頼メ切	3キャンパス学生ボランティア交流会 (3キャンパス合同)	学生が比較的動きやすい	●国際文化交流の夕べ (浜田)
1月	総合演習Ⅰ・Ⅱシラバス締切 (浜田)	連携依頼ポイント	連携依頼ポイント	●冬季休業開始 (浜田・出雲・松江)
2月	学生研究発表会 (浜田・松江)	冬季休業	浜田市・益田市 > 共同研究発表会 共同研究・申請 (H28年度分) 第4回全域フォーラム 教育連携協議会開催 (松江)	●冬季休業終 (浜田・出雲・松江) ●優秀卒業研究発表会 (浜田)
3月	地連カフェ (浜田)	大学研究成果の報告会	第4回全域フォーラム 教育連携協議会開催 (松江)	●卒業研究発表会 (松江) ●秋学 (後) 期試験 (浜田・出雲・松江) ●地域振興に関する提言を含む優秀卒業研究・論文の発表会 (浜田) ●国家試験 (出雲)
4月	ボランティア活動に応じてポイント付与。貯まったポイントを学生に還元します。	ボランティア・ポイント還元 (浜田)	H28年度しまね地域共育・共創研究助成金の申請受付・審査・採択	●次年度オリエンテーション (出雲) ●春季 (学年末) 休業開始 (浜田・出雲・松江) ●卒業式・修了式 (浜田・出雲・松江) ●学年終 (浜田・出雲・松江)
5月		春季休業	「地域研究与教育」発行 (松江) 研究連携協議会開催 (松江)	

学生地域活動

■ ボランティア活動

地域の皆様と学生の架け橋として、学生のボランティア活動への参加を積極的に支援しています。



春：田んぼアートの手伝い(田植え)



夏：国際交流(外国のお兄さんお姉さんと遊ぼう！)



秋：駅北フェスタ

■ 地連カフェ

より積極的にボランティアに参加できるよう、ボランティアに関する座談会・情報交換会・活動報告や、ボランティア依頼者の皆様との意見交換など、カフェ形式で開催しました。



第1回：ボランティア情報交換



第2回：ボランティア・プラットフォーム



第3回：ようこそ先輩

■ ボランティア・マイレージ事業

ボランティア・マイレージ検討会ではより多くの学生がボランティア活動に従事できるよう、学生メンバーが集まり話し合いをおこないます。ボランティア活動回数に応じた表彰や、ボランティア・ポイント抽選会がおこなわれました。



ボランティア・マイレージ検討会



ボランティア上位回数者表彰



ボランティア・ポイント抽選会

■ 学生サークル等による地域貢献活動

個人単位ではなく、サークルや有志による各種の地域貢献活動もおこなわれました。また、先駆的で地域社会への貢献度の高い活動を鳥根県知事が表彰する「県民いきいき活動奨励賞」を「しまね防犯サークル SCOT」が受賞しました。



公民館クリスマス会(BBSサークル)



安全マップ作り(SCOTサークル)



小学校児童クラブ(大道芸サークル)

地域に関する教育・研究活動

第13回地域振興に関する提言を含む優秀卒業研究・論文発表会

地域振興や地域活性化に関して、学生自らが得た知見を地域に還元する場となりました。奨励賞と最優秀賞に加えて、浜田市長賞の表彰もおこなわれました。



フレッシュマン・フィールド・セミナー

全初年次生が16ゼミに分かれて地域に出かけ、調査を通じて地域の課題を発見し、合同成果発表会において課題の解決策を提案しました。



平成27年度「フレッシュマン・フィールド・セミナー」一覧

ゼミ	フィールド先
赤坂ゼミ	・浜田海上保安部
瓜生ゼミ	・株式会社中村水産 ・弁護士法人佐和法律事務所
大橋ゼミ	・島根あさひ社会復帰促進センター ・グラントワ(島根県芸術文化センター)
川中ゼミ	・島根県立少年自然の家
久保田ゼミ	・道の駅キララ多伎 (運営会社:株式会社多伎振興)
西藤ゼミ	・島根県浜田県土整備事務所 ・浜田港湾振興センター
田中ゼミ	・亀谷業業有限公司 ・石州瓦工業組合

ゼミ	フィールド先
豊田ゼミ	・浜田市観光交流課 ・石州和紙会館 ・独立行政法人国際協力機構JICA中国
中川ゼミ	・島根県内の特別養護老人ホーム
八田ゼミ	・株式会社ドクターリセラ ・江津市農林水産課
林秀司ゼミ	・株式会社原工務所 ・株式会社タカハシ包装センター ・社会福祉法人梅寿会
林田ゼミ	・浜田市水産振興課 ・株式会社シーライフ ・漁業協同組合JFしまね浜田支所
藤原ゼミ	・生湯リサイクル農園 ・浜田市産業経済部

ゼミ	フィールド先
別枝ゼミ	・ゆうひパーク浜田 ・萩一まーと ・道の駅瑞穂
光延ゼミ	【行政関係者】 ・広島県選挙管理委員会事務局 ・浜田市選挙管理委員会事務局 ・浜田市議会議員 【報道関係者】 ・中国新聞社編集局 ・同 浜田支局 ・山陰中央新聞社西部本社 【取材協力】 ・島根県選挙管理委員会事務局 ・岡山県選挙管理委員会事務局
渡部ゼミ	・津和野町

地域から／地域への応援・情報発信

■公開講座等の開催

地域に開かれた大学として、地域の方々の知的好奇心に応えるため 25 講座を開講しました。



■学生研究発表会

今年度は2回(7月・2月)開催され、計4ゼミの学生が研究成果を地域の方々へ発表しました。



■学習支援事業

浜田市内小中学校の放課後の補習時間に学生を派遣して、教員と連携して個別学習指導をおこないました。



大学生による小中学校学習 支援事業の取り組み

島根県立島根中央高校 1 年生を対象に、学生が学習支援し、高校生の学力と進学意識の向上に貢献しました。



島根県立島根中央高校

ソフトボール部の学生が匹見中学校野球部員を対象に、学習支援や部活動の交流を、2日間にわたっておこないました。



益田市立匹見中学校学習等支援

■小中学校大学訪問

大学の雰囲気や大学生活を体験してもらい、将来の進路を考える為のきっかけ作りを、学生が主体となってお手伝いさせてもらいました。



■県大農園「すこっぷ」

授業をきっかけに浜田市弥栄町小熊集落で週末ごとに畑を耕し、野菜の栽培、加工、販売を手がける学生グループ。集落の草刈りや雪かきの手伝いもします。



さつまいもの収穫作業



里芋の植え付け作業

■北東アジア地域研究センター市民研究員制度

本制度をととして、学外に蓄積された北東アジア地域に対する知識を、大学院教育に積極的に取り入れました。



学生の地域活動

■学生ボランティア研修会の開催

平成27年5月20日(水)、NPO 法人学生人材バンク代表理事 田中玄洋氏を講師にお招きし、研修会を開催しました。学生からも、活動の報告があり、ボランティアへの参加意識の向上につながる研修会となりました。



サークル活動を通しての地域貢献活動も行っています。乳がん・子宮頸がん検診受診率向上のための啓発活動を行っているボランティアサークル「がんを考える学生の会 てんしんはん」が、これまでの活動を称えられ、ソロプチミスト日本財団「学生ボランティア賞」を受賞しました。

■災害復興支援ボランティアへの参加

東日本大震災の被災地岩手県の復興支援プロジェクト「いわて GINGA-NET プロジェクト」に、夏に2名、冬に6名の学生が参加しました。



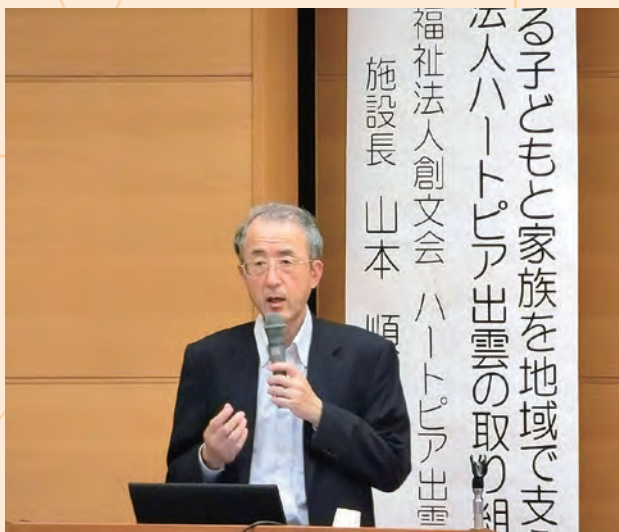
生涯学習への支援

■公開講座の開催

教員の教育・研究の成果を広く社会に還元するため、平成27年度は、一般の方向けに全11講座・計23回の講座を開講しました。



客員教授による公開講座／NPO 法人ふわりならびに社会福祉法人むそう理事長 戸枝陽基氏とハートピア出雲施設長 山本順久氏を講師にお迎えしました。



■出前講座

地域・各種団体からの依頼に対し、看護に関する知識・技術及び一般教養を身につける学習の機会を提供する目的で、教員が依頼先に出向き、講義を行います。平成27年度は33講座を実施しました。



教育機関との連携



小中高校生のための保健医療福祉に関する出前講義の依頼に対し、延べ15回、講師を派遣しました。

また、小学生の体験学習を2回実施し、車椅子体験やブラインドウォーク等を体験してもらいました。

産公学連携

■ 隠岐の島町と包括協定を締結

平成27年7月14日、隠岐の島町と、人材育成や町づくりなどでの包括的な連携協力を目的とした協定を締結し、調印式を行いました。



■ 出雲産業フェア 2015 に出展

2009年度から毎年出展している「出雲産業フェア」に、今年度も出展しました。

会場の出雲ドームには、2日間で約12,000人の来場がありました。

教員の研究成果の展示や学生による健康チェック、がんを考える学生の会「てんしんはん」による乳がん検診の啓発活動等、広く大学での取り組みを紹介しました。



広報・広聴活動

■キャンパスモニター会議

キャンパスに対する理解と連携を深め、意見を大学運営に活かす目的でキャンパスモニター制度を実施しています。キャンパス近隣の住民と卒業生・修了生に参加していただく会議を2回開催し、活発な意見交換ができました。



■第5回タウンミーティングを開催

平成27年9月13日、隠岐の島町役場を会場に、「島で健康な暮らしを続けるために～隠岐の看護を支える～」をテーマに開催しました。住民の方、医療関係者、行政関係者等と共に、島の地域医療と看護教育について意見交換が行われました。



■サテライトキャンパスの開設

地域のニーズに応える効果的な市民公開講座・セミナー等を開催し、市民の生涯学習の支援を行うと共に、大学と市民の交流の場とし、本学の教育研究、社会貢献を推進するための新たな活動拠点として、出雲市駅北に、平成27年10月にサテライトキャンパスを開設し、10月1日にオープニング式典を開催しました。平成27年度は、健康づくりに関する公開講座や「いきかたカフェ」を開催しました。



地域に関する教育・研究活動

履修証明プログラムの開発

「しまね地域共生センター」では、「健康・保育・文化・観光」の専門分野を活かした共同研究を推進しています。健康栄養学科は「ライフステージを通じた食育」「地域特産品と食品開発」、保育学科は「障害児保育・相談支援体制」「地域子育て支援人材養成」、総合文化学科は、「地域で支える生涯学習・教育基盤」「地域文化資源の掘り起こし・評価・活用」「豊かな自然・歴史や文化を活用した観光」「地域情報の発信」の4つのコースを開発しています。これらの8つのコースの平成28年6月開講をめどして、平成27年度中に広報を開始しました。

1 応募資格を確認する
※ 高等学校を卒業した者または、これに同等以上の学力を有する者で、地域の課題解決のための知識や技能の習得も目指します。
※ 各コースに該当する専門職および、関連する関係者で活動経験がある者。または、今後の活動に活かす意欲が強い者である。

2 受講環境を確認する
※ パソコンのメールで送受信ができること。
※ ネット接続の環境がある場合は、パソコンでダウンロードも可能にして受講できる環境であること。

3 受講内容を確認する
※ ホームページ(https://enmusubiplatform.ac.jp)から「しまね地域共生センター」履修証明プログラム(以下「プログラム」と呼ぶ)として、「社会人の学び」履修証明プログラムから履修証明プログラム講座一覧(履修証明プログラム)の受講申込書ダウンロードしてください。
(申込書)※ 履修証明プログラム講座一覧で、希望する講座の受講日程・申し込み料を確認してください。
※ コースは1回または複数受講できますが、その場合は「計画・公開講座」の履修証明プログラムから申請してください。
※ 教材費、受講料の返戻が別途必要場合がありますので、シラバスで確認してください。

4 申込書を作成する
※ デジタルシラバス(履修証明プログラム)受講申込書に必要事項を記入してください。必要は申込書に添付するか、メールの場合は添付データを送信してください。

5 申込書を提出する
※ 平成28年4月15日(木)まで24時間受付。
※ 郵送の場合はメールで送信してください。
※ 郵送の場合は必要(22)の宛先を記載し、メールの場合は22宛先までの宛先に送信されたこととなります。
※ 提出した受講料については、返金はありません。
〒990-0044 鳥根県立大学短期大学部
鳥根県立大学短期大学部松江キャンパス
しまね地域共生センター 履修証明プログラム係
TEL:0852-29-4322
E-mail:enm@nissuiue.u-shimane.ac.jp

6 決定通知を受け取る
※ 必要事項が揃ったと確認されたら、受講料の返、およびお申し込みの決定通知をメールで送ります。

7 受講料を振り込む
※ 受講料は鳥根県立大学短期大学部松江キャンパスに、指定の口座に振り込んでください。

8 受講生証、シラバス、受講ガイド等を受け取る

9 受講開始

社会人の 8つの学びが 始まります

学校教育法第105条及び学校教育法施行規則第164条の規定に基づき、鳥根県立大学短期大学部松江キャンパスが行う履修証明プログラムです。履修証明プログラムは、大学が、主として社会人向けに120時間以上の体系的な学習プログラムを開設し、その修了者に対して、「履修証明書」を交付するもので、プログラムの詳細は、ホームページ等で公表していきます。

**鳥根県立大学短期大学部
履修証明プログラム**
2016年6月から順次開講

鳥根県立大学短期大学部
鳥根キャンパス

しまね地域共生センター

地(物)の拠点

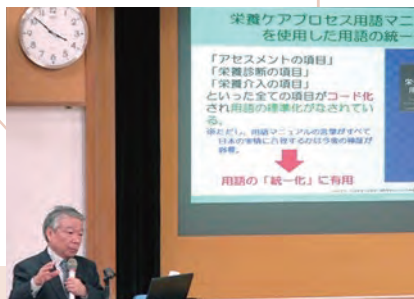
公開講座の開催

生涯教育、地域教育の拠点として、松江キャンパスの魅力づくりを図るため導入した「椿の道アカデミー」会員制度は、平成27年度で5年目となりました。平成27年度は、まつえ市民大学、山陰民俗学会、松江ツーリズム研究会との連携講座を含む全14講座90回を開講しました。



■客員教授教による講演会

平成 27 年度も各学科で客員教授による講演会を実施し、椿の道アカデミー会員や一般に公開しました。



講師…
公益社団法人日本栄養士会会長
同志社女子大学生活科学部
食物栄養学科教授 小松龍史氏
テーマ…
「チーム(多職種)による栄養管理」
「地域連携」



講師…
児童養護施設神戸少年の町
野口ホーム 野口啓示氏
テーマ…
「社会的養護における
支援と子育ての知恵」
「社会的養護における
支援と子育ての知恵」



講師…
島根大学名誉教授 田中瑩一氏
テーマ…
「田植籾子と田植草紙」



講師…
関西大学教授 田尻悟郎氏
テーマ…
「英語の学習法」

地域活性化支援

■島根県産品を 使った食品開発

西条柿の熟柿ピューレと秋鹿ごぼうを使用したレトルトカレーが、「美肌の国キーマカレー」の商品名で商品化され、2015年10月29日、松江市長他市関係者、ピューレ生産者、販売業者、開発を担当した卒業生2名も出席し、松江市庁舎で試食会が開催された。11月25日には、松江フォーゲルパークで一般の人向けの発表会が開催され、施設内レストランメニューにも加えられた。



■松江城ボランティア ガイドの実践

卒業プロジェクト(観光文化ゼミ)では、山本素久氏(NPO松江ツーリズム研究会理事長)のご指導を受け、学生3名が松江城のボランティアガイドを行いました。千葉県、岡山県、広島県からのお客様をご案内し、参加者からは「わかりやすい案内だった」「学生さんの気配りがよかった」などの声をいただきました。



■第12回子ども塾— スーパーヘルンさん 講座への協力

松江市観光文化課および「子ども塾実行委員会」主催による、子どもの五感力育成の教育実践である「第12回子ども塾—スーパーヘルンさん講座」の企画・運営・実施に協力しました。



学生による地域貢献活動

■キラキラドリームプロジェクト

ゴーストみやげ研究所
「ゴーストみやげ第2・3弾」
～怪談をもっと美味しく、楽しくしたい～



革命短大生
「松江国際ライフサポートプロジェクト」
～国際×防災×松江～誰もが住みやすい町づくり～



しまね三味食品科学研究所
「ジビエ活用大作戦」
～ジビエの美味しい魅力を再発見して利用拡大!～



松江市感幸隊(まつえしかんこうたい)
「SHINY☆PROJECT」
～夜の松江に光を観(魅)せよう～



キラキラドリームプロジェクトは、学生が企画する独創的なプロジェクトに対して、大学が費用を補助し学生の夢の実現を応援しています。学生の自主性・積極性・創造性を思う存分発揮できる機会を提供し、好きになれるものを見つける機会となり、より充実した学生生活を送ってもらうことを目的として平成25年度から始めました。今年度は4組の団体が公開審査会でプレゼンテーションをおこない、全事業が採択されました。

■学生の自主的なボランティア活動

平成27年度におけるボランティアサークル volcano(ぼるけーの)は、北野りんご園の作業と、浜乃木七丁目国尾自治会との連携活動を中心に行いました。飛鳥祭では「あったかれっじ交流会」を開催、本部門と国尾自治会員、卒業生OBが集合し、学生が日頃どのようなボランティアに取り組んでいるかをパワーポイントで報告し、また自治会の方々との自由な意見交換を行いました。このような自治会との活動や、学内でのボランティア啓発が評価され、「平成27年度県民いきいき活動奨励賞(ユース部門)」を受賞しました。



教育機関等との連携

■第42回ほいくまつり

保育学科の正課「児童文化」では、1年生2年生が合同で複数のパートに分かれて「児童文化」のための制作過程を学び、「ほいくまつり」開催によって地域の子どもたちと交流しつつ、大学での学びを還元しています。この「児童文化」の教育課程は、平成17年度文部科学省「特色ある大学教育支援プログラム(特色GP)」の選定を受けて全国的にも評価されました。平成27年度「第42回ほいくまつり」は、平成27年6月27日(土)に島根県民会館大ホールで開催され、多くの親子が学生の作りだした歌唱・司会・影絵・劇などの「児童文化」を楽しみ学生と交流しました。



おはなしレストランライブラリーの地域連携活動

■おはなしレストランライブラリー

保育学科の梶間奈保教授が企画した「音のレストラン」が、今年度から始まり、1回目は、ピアノの演奏者、生原幸太さん、2回目はマリンバの演奏者、瀧楨子さんをお招きし、絵本の読み聞かせに合わせ、楽器の演奏を披露していただきました。来館者からは「身近で楽器の生演奏を聴くことができ楽しかった」と好評でした。



■あまんきみこさん講演会・金沢での読み聞かせ・ボランティア

おはなしレストランでは、平成27年10月31日(土)・11月1日(日)の両日、児童文学作家あまんきみこさんをお迎えし、初日はおはなしレストランライブラリー、2日目は大講義室で多くの学生・一般の方々であまんさんのおはなしをうかがいました。おはなしゼミでは夏に金沢市立玉川子ども図書館の見学&読み聞かせを体験し、「やまたのおろち」の紙芝居などを行いました。おはなしレストランライブラリーを利用した、カンボジアの子どもたちに文具や衣類を送る活動も、市民の皆様と協力して本年度も行いました。



しまね地域共育・共創研究助成の研究成果

助成の対象となる活動は、地域を志向した教育・研究・社会貢献を行うために、島根県が直面する地域課題への対応に資する活動を行うものであって、当該年度に支出するもので、平成27年度は次のとおりでした。

1 しまね地域共創基盤研究費

常勤教員等または常勤教員等を代表とする3名以上からなる研究グループの行う調査研究活動

2 地域活動経費

次のア～ウまでに掲げるキャンパスの区分に応じ、当該ア～ウまでに定めるもの

- ア) 浜田キャンパス 演習科目及び地域共生演習にかかる活動
- イ) 出雲キャンパス 「地域」または「地域での実習」に関する科目にかかる活動
- ウ) 松江キャンパス 地域志向内容を含む科目(卒業研究・卒業プロジェクトを含む)にかかる活動

	研究テーマ	申請者
① しまね地域共創基盤研究費	浜田市、津和野町など石見地方の食の特産品の販路拡大、高付加価値化を目指して一産品データベース、CASを活用した6次産業化の可能性を探る	浜田キャンパス 総合政策学部 総合政策学科 教授 藤原 真砂◎
	石見地域の伝統的工芸品の認知度向上、販売促進に関する研究	浜田キャンパス 総合政策学部 総合政策学科 准教授 生田 泰亮
	道の駅の経営形態に関する研究	浜田キャンパス 総合政策学部 総合政策学科 准教授 久保田 典男
	高校生の英語学習に対する英語多読の効果	浜田キャンパス 総合政策学部 総合政策学科 准教授 ケイン エレナ◎
	「高津川と人々の暮らしの繋がりから探る地域の魅力ー地域活性化のための基礎的調査2(高津川と地域の生活に関する聞き取り調査)」	浜田キャンパス 総合政策学部 総合政策学科 准教授 寺田 哲志
	住民組織による買物弱者支援の可能性と課題	浜田キャンパス 総合政策学部 総合政策学科 准教授 松田 善臣◎
	邑南町における稲作の5次産業化に関する研究	浜田キャンパス 総合政策学部 総合政策学科 講師 豊田 知世◎
	「人の移動の要因に関する基礎調査」	浜田キャンパス 総合政策学部 総合政策学科 講師 豊田 知世
	「島根県の森林価値の再評価:林業による活性化の道を探る」	浜田キャンパス 総合政策学部 総合政策学科 講師 豊田 知世◎
	出雲市駅前サテライトキャンパス開設プロジェクト	出雲キャンパス 看護学部 看護学科 教授 山下 一也
	ブレババ・ママ講座の実施と子育てハンドブックの評価	出雲キャンパス 看護学部 看護学科 准教授 長島 玲子◎
	農医連携による限界集落の活性化に関する試み	出雲キャンパス 看護学部 看護学科 准教授 松本 玄智江
	ライブオン健康教室開催による地域住民の自主活動支援の可能性	出雲キャンパス 看護学部 看護学科 准教授 松本 玄智江
	地域住民の健康増進活動を促進する温泉施設の活用と活性化に向けた取り組みー温泉地しまねの特性を活かしてー	出雲キャンパス 看護学部 看護学科 助教 林 健司◎
	「読みメン」の実態調査ー男性の育児参加の向上をめざしてー	松江キャンパス 総合文化学科 教授 岩田 英作◎
	小学校での「英語読み聞かせ」活動の英語学習に対する効果と、小・中学校における英語多読の導入の方法および効果	松江キャンパス 総合文化学科 教授 小玉 容子◎
	『出雲国風土記』の英訳研究	松江キャンパス 総合文化学科 教授 松浦 雄二◎
	食肉の特性を生かした調理加工方法の検討	松江キャンパス 健康栄養学科 准教授 籠橋 有紀子◎
	② 地域活動経費	地域資源を活かした島根県立大学教職課程履修者の学びの発展と深化
島根県石見地方における雇用問題に関する基礎的研究		浜田キャンパス 総合政策学部 総合政策学科 教授 林 秀司
島根県における地域課題と国際化の現状について		浜田キャンパス 総合政策学部 総合政策学科 准教授 林 裕明
リーダーシップの養成		浜田キャンパス 総合政策学部 総合政策学科 講師 マニング クレイヴ
看護学生が実践する子どもと高齢者の世代間交流		出雲キャンパス 看護学部 看護学科 助教 阿川 啓子
松江市の観光振興に向けた取組みー地域志向科目における実践ー	松江キャンパス 総合文化学科 准教授 工藤 泰子	

研究グループでの申請の場合は◎

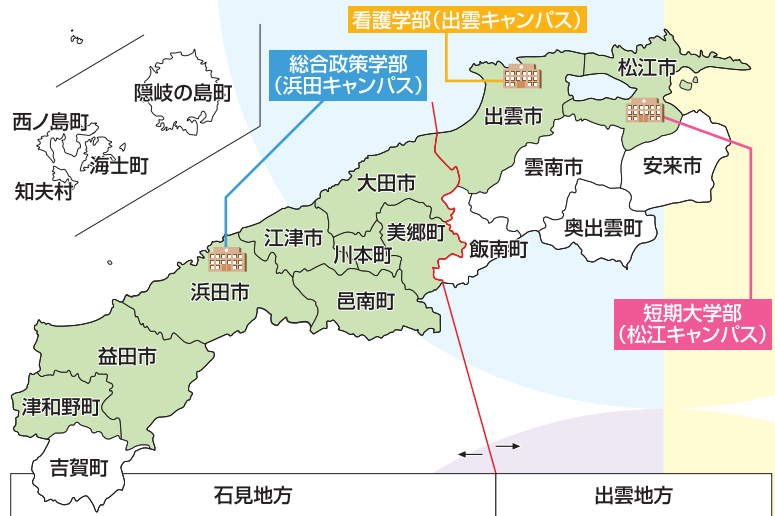
本事業の連携自治体・団体・機関

自治体

島根県、松江市、浜田市、出雲市、益田市、大田市、
江津市、川本町、美郷町、邑南町、津和野町

団体 機関

公益財団法人しまね産業振興財団、公益財団法人
ふるさと島根定住財団、公益社団法人島根県栄養士会、
公益社団法人島根県看護協会、島根県商工会連合会、
島根県保育協議会、NPO法人てごねっと石見、
NPO法人松江ツーリズム研究会、株式会社今井書店、
石見銀山テレビ放送株式会社



■ は本事業における連携自治体（平成28年3月1日現在）

公立大学法人 島根県立大学 お問い合わせ先

浜田キャンパス (地域連携推進センター)

〒697-0016 島根県浜田市野原町2433-2 TEL:0855-24-2396 FAX:0855-23-7352
E-mail:tiiki@admin.u-shimane.ac.jp

出雲キャンパス (しまね看護交流センター)

〒693-8550 島根県出雲市西林木町151 TEL:0853-20-0220 FAX:0853-20-0227
E-mail:kango@izm.u-shimane.ac.jp

松江キャンパス (しまね地域共生センター)

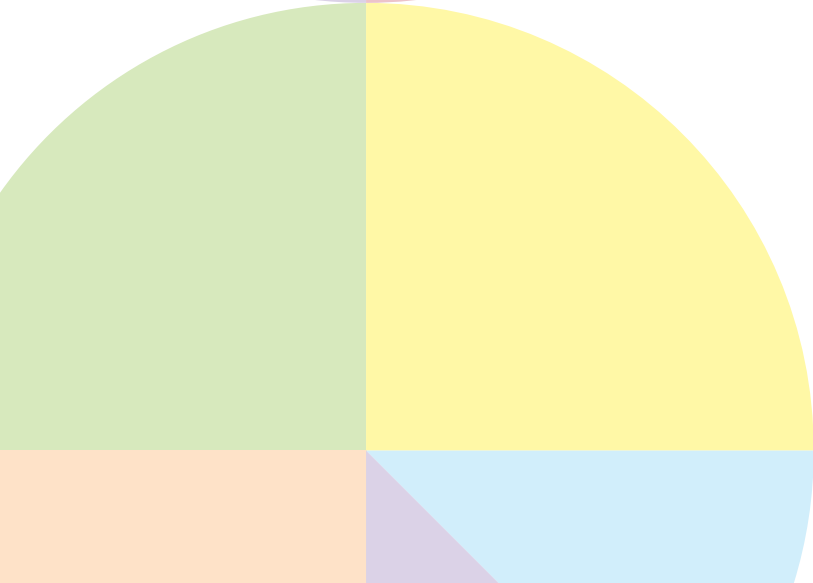
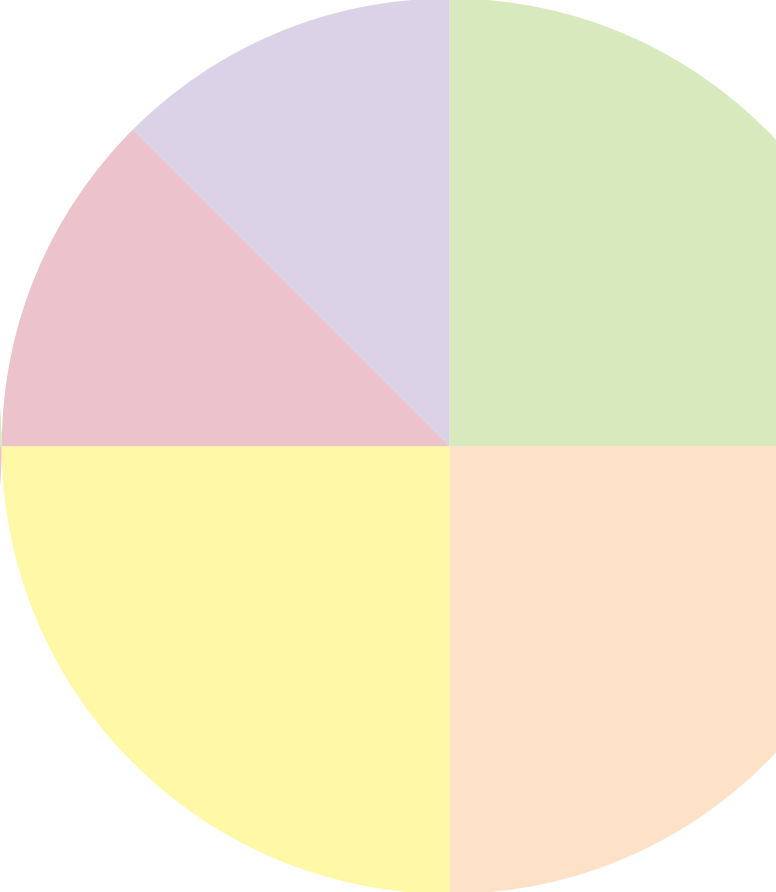
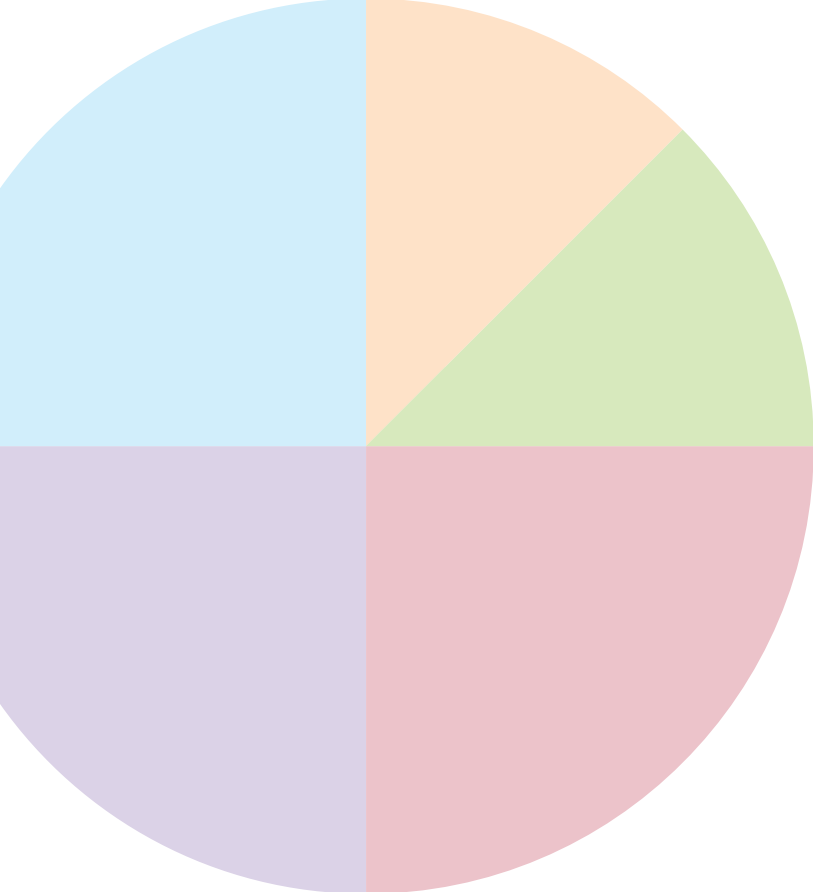
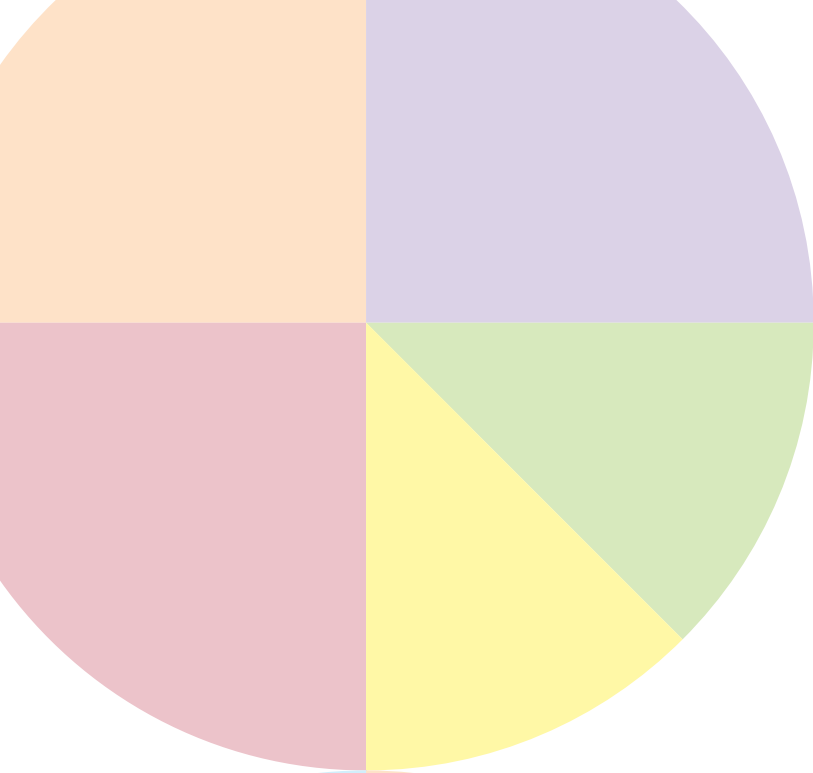
〒690-0044 島根県松江市浜乃木7-24-2 TEL:0852-28-8322 FAX:0852-28-8366
E-mail:kyousei@matsue.u-shimane.ac.jp

平成27年度 地(知)の拠点整備事業

成果報告書(地域連携活動報告書)概要版

【編集・発行】 島根県立大学地域連携推進センター

〒697-0016 島根県浜田市野原町2433-2 TEL:0855-24-2396 FAX:0855-23-7352 E-mail:tiiki@admin.u-shimane.ac.jp



島根県立大学マスコットキャラクター
オロリン



The University of Shimane